



真龍小便り

【学校の教育目標】
 ☆心と体をきたえる子
 ☆美しい心をもつ子
 ☆考えて行動する子
 ☆生き生きと学ぶ子

No.7 令和3年8月31日発行

子どもたちの命と学びを守る

校長 佐野 哲 哉

昨年の3倍にあたる27日間の夏休みを終え、各学級のお便りや夏休みの作品からも子どもたちが充実した日々を過ごしたことが伝わってきました。家族と一緒に楽しく過ごしたこと、本を読んだこと、計画的に学習に取り組んだこと、お手伝いをしたことなど、多くの子どもたちが27日間を有意義に過ごしたことがうかがえました。この間、ご家庭の皆さまには、三密の回避、手洗いの徹底、マスクの着用など感染対策に取り組んでいただきながら子どもたちの健康管理や学習サポート、作品作りへのアドバイスなど子どもたちの生活を支援していただきました。前期第2ステージを迎え、子どもたちが一回りたくましくなって登校する様子を目にして、コロナ感染拡大期のいま子どもたちを感染から守りながら、これからの時代を生きるために必要となる資質や能力を身に付けるために、子どもの学びを保障することの大切さを改めて感じました。現在各学級では一人一人の子に具体的な目標をもたせ、その目標の実現に向けて、意図的・計画的・継続的に取組を進めています。一人一人の子が目標をもって、きのうの自分、今までの自分より少しでも前進できるように努力を続けることを大切にしていきます。

さて、8月27日から北海道は3度目となる新型コロナウイルスの緊急事態宣言期間となり、学校には様々な対応が求められています。感染力が強い変異株「デルタ株」のまん延で学齢期の児童生徒の感染者も増えている現状にあって、本校では「子どもたちの命と学びを守る」ために以下のような感染対策を進めています。

1【基本的な感染対策の徹底】

- ①換気及び空気の循環の徹底（大型扇風機の常用）②手洗い・消毒の徹底とマスクの着用
- ③複数人が手の届く距離に集まらないこと ④近距離での会話や大声での発声を控える

2【学習指導における感染対策】

①教室での学習では

- ・可能な範囲で座席間の距離を離す（人数の多い学級は前後にずらす）
- ・近距離で一つのことを複数で見る活動は避ける
- ・話し合う、相談する活動は距離を確保し短時間で行う

②体育の学習では

- ・天気のよい日はグラウンドで実施する ・マット運動は時期をずらし単元を入れ替える
- ・道具等を共用する活動では、手洗い消毒を徹底する（教師が目視する）

③音楽、家庭科の学習では

- ・歌唱は口ずさむ、ハミングなどマスク着用のまま実施する（大きな声での歌唱は避ける）
- ・鍵盤ハーモニカ、リコーダーの演奏は自粛する
- ・調理実習は時期をずらし単元や活動を入れ替える

④学校行事

- ・集団宿泊的行事（宿泊研修等）は、宣言期間中は実施を見合わせる（解除後に実施）

⑤その他

- ・オンライン授業の実施を見据えて、各学級で「グーグル・ミート」の接続方法や使い方について指導と確認を行う（本日8/31と9/1に家庭への持ち帰り接続テスト実施）
- ・感染者や濃厚接触者等とその家族への偏見・差別や誹謗中傷等が起こらないよう、日頃から子どもたちへの指導を徹底する

3【ご家庭への協力をお願い】

- 発熱の有無に関わらず、お子さん・同居する家族に症状がみられる場合は、登校させずに症状がなくなるまで、自宅で休養させてください（欠席ではなく出席停止の扱い）
- もしもお子さんの感染が判明した時やPCR検査または抗原検査を受けることになった時は、可能な限り速やかに学校に連絡をしてください（担任もしくは教頭・校長へ）
 （→迅速な対応（臨時休業等）で学校での感染拡大を防止するため）
- お子さんを含めご家族皆さんが不要不急の外出や移動、大規模商業施設など混雑した場所への外出等を控える

新聞報道等を見ると夏季休業期間中から児童生徒の新規感染者が増加しています。小中学生は主に家庭内感染、高校生は感染経路不明が多いようです。このような時こそ、学校と家庭・地域、関係機関等が連携を強化し、外からウイルスを持ち込ませない取組や学校での感染拡大防止の取組を徹底し、子どもたちの命と学びを守る取組に努めていきます。保護者・地域の皆様にもご理解とご協力をお願いいたします。

日	曜	9月の主な行事
1	水	短縮日課 放課後学習
2	木	講話朝会（学校長・研修部）
3	金	
4	土	
5	日	
6	月	短縮日課
7	火	短縮日課 朝読書回収日 真小テストスタイル開始
8	水	短縮日課 放課後学習
9	木	配本日 防犯教室 中休み読み聞かせ（2年）
10	金	定時退勤日
11	土	
12	日	
13	月	児童朝会③
14	火	短縮日課
15	水	短縮日課 放課後学習
16	木	北方領土学習(4年)
17	金	前期終業式(朝会)
18	土	
19	日	
20	月	敬老の日
21	火	通常日課 後期始業式(朝会)
22	水	短縮日課 委員会⑦
23	木	秋分の日
24	金	定時退勤日 交通安全指導日
25	土	土曜授業 参観日(全) 厚岸町避難訓練
26	日	
27	月	児童朝会④ 特支6年中学校訪問 児スクリーニング検査
28	火	短縮日課 クラブ③ 人権教室(3・5年)
29	水	短縮日課 放課後学習
30	木	宿泊研修1日目(5年)

「ながら見守り」のお願い

児童の下校時刻に合わせて、また、夏休み中は日中、家の外に出て、庭作業や掃除などを行いながら、同時に児童の見守りを行う「ながら見守り」への協力お願い致します。

GIGA スクール構想の実現に向けて

現在学校では、iPad を活用した授業を行っています。今後は、iPad を家庭に持ち帰り、インターネットを使って学校と家庭をつなぎ、連絡を取り合うことができるよう、準備を進めています。

この仕組みを活用できるようになると、臨時休業の時や災害などの不測の事態の時に、インターネットを活用して、学校から授業を発信し、各家庭で学習をすることができるようになります。これにより、子どもたちの学習が滞ることなく進めることが可能となります。

学校では、早急にこの仕組みを構築するため、取り組みを進めているところです。これに関わり、様々な点で家庭の協力を得なければなりません。学校と連絡を取り合いながら、進めていきたいと思えます。

夏休み作品展の様子から

夏休み中に取り組んだ作品展が行われました。どの作品も夏休み中に頑張った様子が伝わってくるものでした。なお、この作品の一部は海事記念館で行われる「海の作品展」に出展されます。



9月25日(土)は土曜活動日 厚岸町総合防災訓練に参加します

9月25日(土)は、厚岸町の総合防災訓練が実施されます。真龍小学校も参加し、当日は、訓練開始と同時にコンキリエまで、「てんでんこ」(各自てんでんばらばらになって)で避難します。

また、訓練終了後には、参観授業を行います。ソーシャルディスタンスを保ちながら、お子さんの様子を参観するようお願いいたします。また、PTA奉仕活動も予定しております。詳しくは後日発行される案内をご覧ください。

◇◇◇◇◇◇◇◇ 参観授業 ◇◇◇◇◇◇◇◇
3時間目 10時40分～11時25分
各教室で行われます。

3年月組の担任が交代しました

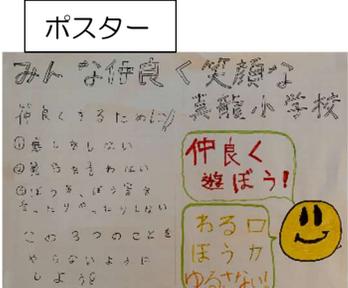
3年月組担任の八代先生が6月から体調不良によりお休みし、児童保護者の皆様にご心配をいただいております。担任としての復帰には、まだ時間が必要との診断を受け、8月18日の前期第2ステージから、浅倉絵美先生が担任となりました。今後ともご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。

いじめはぜったいにゆるさない

現在学校では、児童会が中心となり、いじめ防止を全校に呼び掛けています。

標語 ・目標は いじめではなく 笑顔だよ
・いやがらせ 見てみぬふりも いけないよ
この標語にもある通り、真龍小学校が笑顔あふれ

みんなが過ごしやすい学校になることを、児童、先生、保護者そして地域が一体となって取り組んでいきます。みなさんのご協力をお願いいたします。



コロナ対策について

8月27日に緊急事態宣言が出されました。これを受け、表面の巻頭言にもある通り、学校でも感染防止に配慮した授業を行っています。学校の対応として、

基本の動きでは、①マスクを外さなければならない学習はしない。②換気の悪い密閉空間にしないための換気の徹底と空気の循環(扇風機の常用)。③多くの人が手の届く距離に集まらない。④手洗い・消毒の徹底⑤マスクの着用。⑥近距離での会話や大声での発声を控えさせる。などを念頭におき指導しています。

学習指導の配慮では、教室では、①座席をできる範囲で離す。人数が多い学級は前後にずらす。②一つのもの複数で見る、作るような学習は避ける。③話しかけ、教えあう場面では、間をあげ、短時間で行う。

体育では、特に物を共有するような内容の場合は、手洗いと消毒の指導と、その様子を確認することやマット運動は時期をずらし、単元を入れ替えることなど、具体的な動きを確認しています。

各家庭でも、お手数ですが、毎朝行っているお子さんの健康観察、風邪症状がある場合、登校せず、家庭で様子を見るなど、蔓延防止へのご協力をお願いいたします。

真龍小学校便り おすすめ本(R3.9月号)

『さかなのなみだ』

さかなクン (二見書房)

真龍おはなし隊 持家恭子

{さかなの世界にもいじめがある。
たとえば、メジナというさかなは、海のなかで仲良く群れて泳いでいます。せまい水槽と一緒に入れたら、一匹を仲間はずれにして攻撃し始めたのです。ケガをしてかわいそうで、そのさかなを別の水槽に入れました。すると、残ったメジナは、他の一匹をいじめ始めました。助け出しても、また次のいじめられっ子が出てきます。いじめっ子を水槽から出しても、新たないじめっ子があらわれます。広い海のなかなら、こんなことはないのに、小さな世界に閉じこめるとなぜかいじめが始まるのです。}

*絵本より抜粋

魚のいじめについて、さかなクンはこう分析しています。

せまい水槽の中では、逃げたくても逃げられない。

いじめるほうもせまい水槽でストレスがたまり、気に入らないのが続くからずっとかみつく。

広い海にいれば、それぞれの世界で生活できて、長い間いじめられることもないと思います。

私はこの絵本に出会い、いじめは自然の摂理なのかもしれないと思うようになりました。

なくなるように努力すること、なくそうとする気持ちはもちろん大切ですが、限られた世界にいる以上、魚にも動物にも人間にも起こる当たり前の現象なのですから、いじめられる子に原因が有っていじめられる訳でもないのです。

さかなクンのメッセージはこう締めくくられます。

{外には楽しいことがたくさんある。

広い空の下、広い海へ出てみましょう。}

皆さんにとって、自分らしく輝ける場所がいつか見つかりますように。

